

ミルクを持たせ、口が渇いたとき飲ませて成功しました。

ミルクの飲めない子には、遠足に行くのに水筒のかわりに

なが書けるようにする日を夢みながら。

それを一ぱい一ぱい書かせています。この子にやがてひらが

何の意味もないクシャクシャの曲線しか書けない子には、

破りました。その中から鋏の使い方に導いてきました。

本を与えその行為を続けさせました。分厚い電話帳を四冊も

本を片っぱしからビリビリ破る子には、何冊も何冊も古い

### 岡崎市特殊教育推進協議会・昭和55年12月1日発行

さずにはいられません。

らに努力を続けられるこれら教師に心からの敬意と感謝を表わ

すれば幸せにしてやることができるか。」と英知を傾むけひたす

現実目の前の子ども達を「何とかしてやらなければ」「どう

したが思い切ってやめてもらいました。それから自主性が育

いつまでも登下校の送り迎えをして下さる父兄に、心配で

ってきたように思います。

そ意義深いと思われます。 と……、その報告の最後に結んだ言葉が深く心に残っています。 ばに寄ってくるようにしなければ、障害児の教育は始まらない。 担当教師たちの地道な努力と実践の結果が集大成されることと 騒ぎに終るととのないようにしたいものです。とうした障害児 との研究集会で、ある女教師は「子ども達が喜んで教師のそ 来年は、国際障害者年ということですが、いたずらにお祭り



### 心を 特殊教育部長 開

稲 垣

いまだ心に残る岡崎障害児担任教師たちの実践報告の中から

茂

# 夏休みの宿泊卒業生との交流

# 交流の輪を広げて

美川中

鈴 木

忍

と、六年生の男児の父親が言い 家庭訪問をしていた三月末のこ にくそうに、 学級への入級生徒勧誘のため

殊学級に入れやぁ、少しは勉強 「先生の言うととは分った。 特

> とる。」と言われた。 ないで、入れん方がいいと思っ いか。さびしい思いをさせたく 級では同級会にも出れんじゃな だけど、卒業してから、特殊学 ができるようになるかもしれん。

配はないと思いますよ。 級を決めているので、そんな心 "学校の方でも配慮して、 親学 と答えたも

同 級 会 後のアフタ 運んでいる のの、 わけでもな スムーズに パーセント 級の生徒と んとか卒業 いので、な の交流も百

楽 感させられ えねばと痛 ついても考 そこで、

> に宿泊訓練を行うことになった。 生活訓練などを兼ねて、夏休み 同級会や在校生との交流、日常

## 卒業生も全員参加

瞳

る。しかし、話してみると、や ずい分変わるものだと驚かされ 髪の毛を染めている女子、ヒー 校へ駆けつけて来た。中には、 曜日の午後、ほとんど全員が学 徒が毛布や洗面具を持って、 大騒ぎだ。 やか。それに在校生も加わって タレントの話とにぎやか、にぎ はりむかしのまま。異性の話 けた頭の男子。二年、三年で、 ルの高い靴をはき、パーマをか 卒業後、二年目、三年目の生

こんなにやかましいもんかね。 を教える光景。「中学生って、 容院で修業中の子が、手つきお などと、 ぼつかない後輩に包丁の使い方 一年生。 調理室での夕食の仕たく。 先輩面している社会人 美

## ファイヤーを囲んで

ーケアーに

自分の数年後の姿をオーバーラ 話を後輩が真剣な目付きで聞く。 叱られた話などをする。そんな プしながら聞いているのでは を囲んで、職場での失敗談や 夕食のあと、校庭でファイヤ

> 半年が過ぎ去りました。不安と 御指導により、失敗を繰り返し 戸惑いの中で、先輩の先生方の 特殊学級の担任として、はや、 らかの身体的障害を持つ我がク ラスの子どもたちですが、暗さ いです。 のないのが私にとって大きな救

ながらも何とかここまでやって

に無理な課題を与え、登校拒否 気味にさせてしま 四月当初には、クラスのA君

うという失敗もし 担任として半年

気に登校し、大きな声で笑い、 彼に合った課題を与えるように 彼の能力を知り、 知ることの重要性を感じさせら になりました。子どもの能力を なった今では、A君は、毎日元 気軽に私に話しかけてくるよう

れた事件でした。それぞれが何 る今日とのどろです。

これたように思います。 五年、十年と特殊教育に取り組 育専門講座にも参加しました。 育センターで行なわれた特殊教 また、夏休みには、

愛知県教

ました。しかし、 甲山中 鶴田 子が悪く、入院しています。と は精一杯がんばろうと思ってい だからこそ、私の力の及ぶこと と病気に関しては手も足も出な いはがゆさをつくづく感じます。 現在、心臓疾患の子どもの調 ひろ子 した。 方のお話を聞くと んでおられる先生 いう貴重な体験で

ないだろうか。

られる。 分がんぱっているなと感心させ ら、毎日の様子を聞いて、ずい がまじめに左官修業中のK君か 教室の床は周かった。 無口だ

すぎに解散した。 来年、八月の再会を約し、 一年間、元気にやれよ! 客

## 研究集録を発行

テーマ。ことばの指 導

に発行される。主題は「ことば もを取り上げ、その子の実践事 例をまとめる。 の指導」で、あるひとりの子ど 本年度の研究集録が三月中旬

校百部印刷して二つ折りで提出。 原稿の提出は二月十日、各学 健康児とあまり変らない軽症の

日常の生活に大きな支障もなく、

### か け

おもってさがした。 おかあさん かあさんはどこにいるかな、 って、だまってまっていた。 えでとまった。わたしは、 てくれた。うれしかった。 った。七くみのきょうしつのま いた。すぐちかくで、みてい ゅうじょうもんからはいる 七人で手をつないではし 竜美丘小 年 お

ろにすわった。かけっこがいち ばんおもしろかった。 わたしは、三とうのはたのとこ だったよ、とおしえてくれた。 てから、おねえさんが、三とう ぬかせなかった。はしりおわっ た。ぬかしたいとおもったけど、 た。やよいちゃんとひさこちゃ んがわたしのまえをはしってい たをあげて、よういどんといっ ないとうせんせいが、あかいは しろいせんのところにたった。 わたしのはしるばんになった。

冷たい風

### $\Box$ ス モスの

花

根石小

五年

コンクリートのすき間で コンクリー まわりは固いコンクリートと とてもさびしそうだ コスモスが咲いている ト コンクリ 南中 年

友達はどこへ行ったの 力いっぱい咲いている 小さなすきまに根をはって コスモスの花はひとりぼっち 生懸命咲いている か

甲山中

た。テーブルちがかけまし強い線で友だ たと思います。体の動きがか のどちそうと

す。りないる感じでという感じで いかにも健康 々とした作品す。力強い堂 はちきれるよ

です。

といた、 同じように療育することは、 とのように程度の異る障害児を 障害児と千差万別であります。 して良い結果を期待できません。 障害児の療育の難しい 決

つに分けて考えることができま の問題を考えるとき、大きく二

は

現在心身に障害のあ

小児科医の立場から、障害児

要であります。この原因の探求

標にしてがんばっている。

両親、 学的、 療育に直接、 された能力を、可能な限り引き 教師、 それを伸してあげるよう 教育的見地から、この隠 間接に携わる人々 医師はもとより、

# 隠された能力を引き出そう

### 玉 際障害者年を迎 え

小児科医

杉

浦

寿

康

害児といっても、その程度には

いろいろあります。

全く床に臥

ら、いかに療育したらよいかと る児を、医学的、教育的立場か

いう問題であります。一口に障

健康な人には推り知れない能力 害児といえども、その個体の中 が隠されていると思います。 ち、意志も存在するはずです。 には、人間としての生命が脈打 点があります。しかし、 重度障 医 

度障害児と、ある程度は自分の

意志を表現することが可能で、

達もまゝならない、いわゆる重 こともできず、自分の意志の伝 しただけで、自分の身の回りの

究と、その予防方法の研究が必 それには、障害の起る原因の探 は努力しなければなりません。 も少くする努力をすることです。 第二は、 障害児を今後一人で

> ょう。 初めて、真の福祉が存在するの 障害児が生きることができる時 ではないでしょうか。国際障害 迎え入れ、一人の社会人として を惜んではなりません。 者年を迎え、 みんなで考えまし なく、多くの人々がこれに協力 ることなく、一人の同胞として 障害児を社会が特別な目で見

(岡崎市就学指導委員)

## 明るい顔で「きこえるよ」 **竜美丘小難聴学級**

加できるようにということを目 友だちや先生と話し、 普通学級へ行っても、 養訓の時間に七組で学習する。 顔で「きこえるよ」と答えてく ている。声を聞きつけて明る に三人の健康チェックをかね 級の合言葉。子供の個人補聴器 れると、本日の学習開始。 と、教室の補聴機器と、ついで 校内通級の形で、国語、 きこえる?」これが、本学 学習に参 元気よく 算数



聴学級の学習風景

# 岡崎 特殊教育の歩み

学級編成について

全

玉

最

初

の

青

空

学

級

戦中の部

### 私が担任であった頃 時二郎

とめてみると。 をたどり、その経営の大要をま れたためである。今から三七年 養護学級が特設された。戦時中 も昔のことである。ここに記憶 のこととて、健康教育が重視さ 昭和一八年、連尺国民学校に

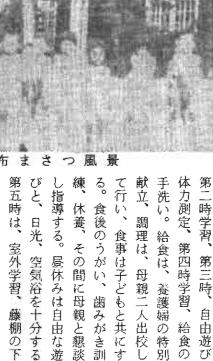
の人員であった。

日課について

第一時は、体温測定、

朝の観

乾布摩擦、休けい、学習、



て行い、食事は子どもと共にす

乾 びと、日光、空気浴を十分する。 第五時は、室外学習、藤棚の下、 し指導する。昼休みは自由な遊 練、休養、その間に母親と懇談 る。食後のうがい、歯みがき訓 と称していたゆえんである。 校外に出ての学習、「青空学級」

## 戦時下の給食に苦労

例がない。学習と運動のバラン 本では初めての試みであるから カリキュラムは自主編成、 B

成した。当時の普通学級の12 希望もあったので、三九名で編 ることにしたが、虚弱児の入級 検査をし陽転児をもって編成す **人学前にツベリクリン反応の** が、幸いに、父兄が魚や肉を差 のある給食をするのに苦労した 効果的な指導をするのに苦心し どもと接する時間を多くして、 し入れてくれたので、助かった。 った。また、戦時下なので、栄養 た。私には、休けい時間はなか いので、学力をつけるのに、 ス、健康増進のための指導が多 帰りの会は、運動場である。

した。 ので、欠席することもなく全快 労の度合などに注意した。 る者を発見したが、早期だった 影をした。一人の肺に異常のあ 回校医の前川斉先生の診察と、 健康管理について — 毎月 一回のレントゲンの大陸版撮

## 文部省が研究を指定

国で二校文部省が指定し、大い に奨励してくれた。 めずらしい研究だったので、全 められ、指導もして下さった。 かくて、養護学級の指導経営 県衛生課の八田宏課長に認

**興、学制改革と、苦難と混乱の** 空鬘、学校焼失、二部授業、復 まゝにならなくなった。ついに きびしくなり、学級運営は意の だが戦時下、生活はますます

> 道が続いた。 元連尺小学校長 (以下次号へ)



六名小学校長

稲垣

茂氏

W

## 就学のための教育相談 就学指導委員会開かる

月六日に開催されました。「就 就学指導委員会が開催されます。 学のための教育相談」は十月十 かるため、毎年十一月になると 八日より三回にわたって行われ 本年度は十一月十五日と十二 新入学児童の適切な就学をは

> 岡田病院院長 愛知教育大学教授 福祉の村希望の家 岡崎児童相談所長 安城養護学校長 岡崎養護学校長 杉浦小児科医院長 六ツ美中学校長 友愛の家館長 池田勝昭氏 杉浦寿康氏 太田 阿部輔良氏 鈴木拓郎氏 井上恭夫氏 沢田忠治氏 佐藤典郎氏

五十人位の方が相談にみえます。 相談、助言が行われます。毎年 教育委員会 以上十名の先生方によって、 藤井 清氏

111

1/F

## とがき◆

◇特集「岡崎の特殊教育の歩み」 ◇お忙しいなか、杉浦寿康先生 ◇会報「かいはつ」第三号をお たら係までお送り下さい。 ます。写真・資料がありまし を四回にわたって連戴いたし らお礼を申し上げます。 ご提言とご報告を戴き、 心か 深津時二郎先生から、国際障 届けします。発行が遅れまし 害者年を迎えるにふさわしい たことをお詫びいたします。 連絡先

六ツ美中学校 TEL四三一二〇七一 加藤

就学指導委員会の先生方は